

令和2年 4月

組 合 員 各 位

おおぞら農業協同組合
代表理事組合長 藤田 繁信
(公印省略)

新型コロナウイルス感染症の予防対策について

時下、各位におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、組合員の皆様におかれましては、農作業も始まり忙しい日々をお過ごしのことと存じます。

今般の「石川県緊急事態宣言」を受け、別紙のとおり新型コロナウイルス対策に関する農林水産省対策本部からの「新型コロナウイルス感染症の予防対策」と「感染症患者が発生した場合」をご案内いたしますので、ご参考にし感染防止に心がけて頂ければ幸いです。

当組合においては、役職員一同感染防止に努め組合員の皆様にご迷惑が掛からないよう事業運営に取り組んでまいりますので、宜しく願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の予防対策

- **食品を介して**新型コロナウイルス感染症に**感染したとされる事例は報告されていません。**
- 新型コロナウイルス感染症の主要な感染経路は、飛沫感染と接触感染であると考えられています。
- **体調管理**や**こまめな手洗い・手指の消毒、咳エチケット**などを実施すれば心配する必要はありません。
- 一般的な衛生管理が実施されていれば、感染者が発生した施設等において**操業停止や食品廃棄などの対応は必要ありません。**

・ お勧めする感染症予防対策

- 体温を測定し、記録すること
- 発熱などの症状がある場合は、所属長に連絡して自宅待機すること
- 不特定多数が集まる場所では、できる限りマスクを着用すること
- マスクを着用しない場合は、2メートルを目安に、距離を保つこと
- 屋内で作業する場合は、必要に応じて換気を行うこと

※ マスクの入手が難しい状況ですが、政府としてその確保に全力で取り組んでいるところです。

・ 感染者が発生した施設設備等の消毒方法

- **アルコール消毒液**を浸したペーパータオル等で**拭きとり清掃**します。

清掃箇所

頻繁に**手指が触れる場所**
(机、手すり、ドアノブ、電気のスイッチ、水道の蛇口など)

消毒用資材

アルコール(消毒用エタノール(70%)、(次亜塩素酸ナトリウム(0.05%以上)*で代用可)

拭き取りに使う**使い捨てペーパータオル等**

*次亜塩素酸消毒液を扱う際には、手袋着用など十分に注意して行って下さい。

水田・畑作・施設園芸等の農業者や集出荷施設等の従業員のみなさまは、国民への食料の安定供給等に重要な役割を担っています。
みなさまの中で新型コロナウイルス感染症の患者が発生した時に、業務継続を図る際の基本的なポイントをまとめました。

※「農業における新型コロナウイルス感染者が発生した時の対応及び事業継続に関する基本的なガイドライン」<http://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/pdf/gl_nou.pdf>

1 予防対策の徹底

厚生労働省等の情報に基づいて、**徹底した対策**をお願いします。

○**農業者・従業員等に感染予防策を要請**します。

- ①体温の測定と記録
- ②発熱などの症状がある場合は、関係者への連絡と自宅待機
- ③37.5℃以上の熱が4日以上継続した場合等は、関係者に連絡の上、保健所に問い合わせ
- ④屋内で作業をする場合は、できる限りマスクを着用
多人数で行う場合等、状況に応じて換気を行う
- ⑤集出荷施設等への入退場時には手洗い、手指の消毒
- ⑥ドアノブ、手すり等人がよく触れるところは、拭き取り清掃



○**会議・行事等の開催の必要性を検討し、開催する場合は風通しの悪い空間をなるべく作らないなど工夫**してください。

2 患者発生時の患者、濃厚接触者への対応

患者が発生した場合は、保健所の指示に従い対応してください。

- 患者が確認された場合には、関係者に周知するとともに、**保健所に報告し、対応について指導**を受けてください。
- 保健所の調査に協力し、濃厚接触者の確定を受けます。
- 濃厚接触者と確定された農業関係者には、14日間の自宅待機及び健康観察を実施**してください。
- 濃厚接触者と確定された農業関係者は、**発熱又は呼吸器症状**を呈した場合は、**保健所に連絡し、行政検査**を受検します。

3 生産施設等の消毒の実施

- **保健所の指示に従って**、感染者が作業に従事した区域^{※1}の消毒を実施します。
緊急を要し、自ら行う場合には、感染者が作業に従事した区域のうち、頻繁に手指が触れる箇所^{※2}を中心に、アルコール^{※3}で拭き取り等を実施してください。
※1 生産施設、集出荷施設、事務室等
※2 机、ドアノブ、スイッチ類、手すり等
※3 消毒用エタノール(70%) 又は次亜塩素酸ナトリウム(0.05%以上)
- **一般的な衛生管理が実施**されていれば、感染者が発生した施設等は**出荷停止や農産物廃棄などの対応をとる必要はありません。**

4 業務の継続

あらかじめ地域の関係者が連携する体制の検討をお願いします。

< 想定される連携体制 >

- ・ J A等の生産部会 ・ 農業法人のグループ
- ・ 集出荷事業者等を共有する集団 ・ 集落



< 検討事項 (イメージ) >

- ・ 連絡窓口、連絡網の作成 ・ 消毒資材、消毒要員の確保
- ・ 農作業代替要員のリスト作成
- ・ 代行する作業の明確化、優先順位付け、作業方法
- ・ 代替要員が確保できない場合の最低限の維持管理方法など

例えば

支援内容

耕起作業や播種・育苗作業、水やり作業など
当面の営農活動継続のために**支援を必要とする作業**を
検討し、**作業の優先順位付け**を行います。

支援要員

周辺農業者や受託組織の活用など、
あらかじめ

① **誰(どの機関)**が

② **どの作業**を

支援するか役割を明確化します。

〔 ※ 労働力の確保状況を踏まえながら、
優先順位に基づき、作業を実施しましょう。 〕



※ 必要に応じて市町村等の関係機関に相談しましょう。

農林水産省は、みなさまの業務が継続できるように全面的に協力いたしますので、ガイドラインを参考に対応していただきますようよろしくお願いいたします。